YBJGA 005-25

八潮中央総合病院 院外広報誌

ふれあい

開院50周年記念 特集号

2023年3月

発行:医療法人 社団協友会 八潮中央総合病院　編集:広報委員会　〒340-0814 埼玉県八潮市南川崎845番地　TEL.048-996-1131／FAX.048-997-2135

当院は、今年で開院50周年

病院理念

「地域から信頼される病院」

患者さまの権利

私たちは、以下の権利を尊重します。

1.適切な医療を受ける権利
2.人権とプライバシーが保護される権利
3.医療情報の説明を受ける権利
4.医療行為を選択する権利
5.診療録の開示を求める権利
6.他の医師に意見を求める権利(セカンドオピニオン)

基本方針

私たちは、以下の基本方針を遵守し、信頼される病院を目指します。

1.安心・安全な医療の提供
2.紹介患者・救急患者の積極的な受入体制
3.急性期からリハビリ、終末期医療の機能と充実
4.地域包括ケアシステムの推進
5.教育研修の向上と研鑽
6.患者さまの人権を尊重した医療の提供

Yashio
Central General
Hospital.

開院50周年を迎えて

八潮中央総合病院
院長 **本間 恵**

当院は1973年4月に上尾中央医科グループ2番目の病院として開院し2023年の今春、50年を迎えます。日頃より陰になり日向になり支えて頂いた地域の皆様、近隣の医療機関の先生方、大勢のスタッフに深く感謝申し上げます。

八潮市の人口増加、発展の歩みとともに、当院も当初の80床からスタートし、1989年には増築、2016年春に現在の南川崎に250床で移転し規模を拡大、機能の充実を図って参りました。移転に伴い以前からかかりつけの近隣の方々には通院の便が悪くなりご迷惑をおかけいたしましたが、引き続き通院先として選んで頂き有難く存じます。また、移転に伴い多くの新たな患者さまにも期待をかけて頂いております。この期待に応え一人一人の患者さまやご家族に寄り添いつつ、その時代の医療水準にあった適切な医療を提供できるよう、我々当院スタッフ一同、チームワークを生かしてより良い病院づくりを目指します。

今後も当院を育てて下さいますように御支援、御助言よろしくお願いいたします。

目次

新旧病院の外観、病院理念・基本方針 ……表紙
幹部職員集合写真、院長あいさつ …… 2
祝辞　中村康彦会長、八潮市内のAMG施設 …… 3
祝辞 ……4〜5
記念対談　大山忍八潮市長・本間恵院長 ……6〜9
50年のあゆみ ……10〜11
診療科の紹介……12〜13
歴代三役……14
資料編 ……15
屋上から見た周辺の景色 ……16

祝辞 congratulatory address

八潮中央総合病院50周年を迎えて　これからの未来に向けて

上尾中央医科グループ
会長 **中村 康彦**

この度は開院50周年誠におめでとうございます。

八潮中央総合病院は、上尾中央総合病院に続く第2番目の病院として1973年(昭和48年)4月1日に開院しました。「八潮中央病院」の誕生は中村名誉会長と当時の職員の方々の念願であり喜びもひとしおであったと聞いております。

初代院長には当時上尾中央総合病院の外科部長兼副院長を勤めていた江里口敏雄(故)医師が就任し、地域からの医療ニーズに総合的に応え信頼される医療を目指し運営をスタートしました。

増改築工事や増床を行う中、1989年(平成元年)に総合病院の認可を受け「八潮中央総合病院」へ改称、開設時80床であった病床数も現在は250床となり入院機能も一般、回復期、緩和ケア病床と地域の幅広い医療ニーズに応えるまでに発展しました。

さらに2005年(平成17年)のつくばエクスプレスの開通を機に八潮市の都心部への利便性も高まる中、2016年(平成28年)5月に新築移転を行うことで広域にわたり医療を担うようになり、健診センター始め訪問看護、訪問リハビリ、居宅介護などの在宅医療・介護サービスを通して地域に着実に根付いてきました。

このように半世紀にわたり様々な変化と成長を遂げてきましたが、現在も地域から信頼される病院として6代目本間院長へ連綿と受け継がれております。

近年の新型コロナウイルス感染症は世界中に変化をもたらしましたが、我々 AMGも知恵を集結し柔軟に対応しながらこの難局を乗り越えてきました。

八潮中央総合病院のこれまでの50年の功績に敬意を表するとともに、これからの未来に向けて奉仕の気持ちと職員の一人一人の主体的行動力が地域の医療貢献となることを胸に刻んでいただき、八潮中央総合病院の職員の皆様の活躍を期待しています。

これからもよろしくお願い致します。

八潮市内の上尾中央医科グループ（AMG）傘下の施設

八潮中央総合病院

埼玉回生病院

医療法人社団協友会　埼玉回生病院
〒340-0825　埼玉県八潮市大原455
TEL:048-995-3331(代表)
診療科目　内科、老年内科、循環器内科、漢方内科、呼吸器内科・アレルギー科、神経内科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科、矯正歯科

ケアセンター八潮

介護老人保健施設　ケアセンター八潮
〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ケ曽根1184番地4
TEL:048-998-2220
入所サービス、短期入所療養介護、介護予防短期入所療養介護、通所リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション、介護予防訪問リハビリテーション

祝辞 congratulatory address

八潮市長
大山 忍

医療法人社団協友会八潮中央総合病院が開院50周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

貴院は、本市唯一の総合病院として長年にわたり地域に根ざした医療サービス等を提供し、市民の生命と健康保持のために重要な役割を担ってこられました。これもひとえに、本間院長をはじめとする先生方やスタッフの皆様の熱意とご尽力によるものと心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大は未だ収束が見えず、医療を取り巻く環境は大変厳しい状況が続いております。八潮市といたしましても、貴院との連携を密にし、「住みやすさナンバー1のまち　八潮」を目指して、市民の健康を守るべく各種施策を推進してまいりたいと存じます。引き続き変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、八潮中央総合病院のますますのご発展と先生方やスタッフの皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

八潮市議会議長
寺原 一行

この度、八潮中央総合病院が開院50周年を迎えられますことに市議会を代表して心からお祝い申し上げます。

貴院が、昭和48年に本市に開院されて以来、歴代病院長をはじめ、関係者の皆様のご尽力により、本市唯一の総合病院として施設の整備・拡充はもとより、地域医療の向上と福祉の増進に貢献してこられましたことは、誠にご同慶に堪えないところであり、皆様のご熱意・ご尽力に対して深く敬意を表する次第です。

また、継続するコロナ禍において、使命感をもって医療に従事されている皆様のご努力に対しまして、心から感謝申し上げます。

結びに、開院50周年という大きな節目を契機に貴院おかれましては「地域から信頼される病院」という基本理念のもと、引き続き安心・安全な地域医療の提供にお力添えを賜わりますようお願い申し上げますとともに、貴院のさらなるご発展と職員の皆様のご健勝とご活躍を祈念しましてお祝いの言葉といたします。

埼玉県議会議員
宇田川 幸夫

開院 50 周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。八潮市制施行の翌年の 1973 年に開院されたと言うことですから、八潮市誕生と同時期から地域医療の最前線で市民の皆様の健康を守り続けていただいたことになり、誠に心強く感じております。

住み良いまちの指標の一つに「医療環境の充実」があります。新型コロナウイルスへの対応をはじめ、医療全般から大規模な災害に備える体制まで整っていることが求められます。

八潮中央総合病院は、本年1月に埼玉県から災害時連携病院に指定され、中等症患者や容態の安定した重症患者を受け入れ、速やかな医療救護活動を実施していただけるようになりました。まさに50周年に歩調を合わせるかのような「行政と医療機関」の連携関係が結実したものだと考えております。

さらに、50周年の節目を経て、今後も市民の命と健康を守り、市政の発展を共に目指せればと思いながら、ご祝辞に代えさせていただきます。

草加八潮医師会長
内藤 毅嗣

この度、八潮中央総合病院が開院50周年を迎えられましたことに心からお祝い申し上げます。

八潮中央総合病院は、上尾中央医科グループの第2番目の病院として開院され、草加八潮医師会は、ほぼ同時期の1971年（昭和46年）に設立し、半世紀に亘って共に歩んでまいりました。貴院は地域の二次救急病院の役割だけでなく、熱中症・糖尿病・感染症・乳がん等多数の市民に対しての講座も行っており、地域医療の向上に多大な成果をもたらしています。またコロナ対応でも地域の重要な医療機関であり、更に災害医療訓練にも積極的に参加され、現在は八潮市や草加市民だけでなく、近隣の住民にとっても、最も信頼される病院の一つとしての地位を築きあげています。

これもひとえに歴代の院長をはじめ、医師や看護師だけでなく多部門にわたる職員の皆様のご尽力の賜物であり、深く敬意を表します。

結びに、八潮中央総合病院が、住民に「安心できる」そして「信頼される」病院として、今後ますます発展されることを祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

草加八潮消防局長
冨田 忠彦

この度、八潮中央総合病院が開院50周年の佳節を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

八潮中央総合病院は昭和48年の開院以降、地域医療の中心として貢献され、平成28年に南川崎に新築移転後も変わらず市民の皆様に安全・安心な医療を提供され続けてきました。これはひとえに病院長の本間様をはじめとする職員、関係者の皆様の御尽力によるものであり、心から敬意を表します。

また、救急告示病院である八潮中央総合病院は基本方針の一つとして「紹介患者・救急患者の積極的な受入れ」を掲げられ、消防行政にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

草加八潮消防局といたしましても、救急医療体制のさらなる充実強化に向け、八潮中央総合病院と連携を図るとともに、住みやすい街づくりに貢献できるよう努めてまいりたいと存じます。

結びに、八潮中央総合病院の益々のご発展と職員、関係者の皆様の御健勝を祈念申し上げまして、祝辞とさせていただきます。

八潮市教育委員会教育長
井上 正人

八潮中央総合病院開院50周年にあたり、心からのお祝いとお慶びを申し上げます。

これまでの本市における貴院の存在は、教育に当たる教職員はもちろんの事、多くの保護者、児童生徒に安心感を与える存在でした。人は怪我や病気の時に頼れる医療機関があると心強くありがたいものです。ここ数年は新型コロナウイルス感染症の対応等、医療機関に携わる多くの方々の存在が如何に重要であるか。また、そのお陰で私たちの日常生活が保たれているかを思い知らされました。新聞やテレビ、雑誌などで取り上げられる世界中の医療機関の現状を見ると、日本の医療機関の凄さ、ありがたさを感じずにはいられません。今後も八潮市民の頼れる医療機関として、充実発展されることをお祈り申し上げます。

結びにこれまでのご苦労、ご尽力に敬意を表するとともに、今後も継続的に教育現場へのサポートをお願い申し上げお祝いの言葉とさせていただきます。おめでとうございます。

前八潮市長
多田 重美

八潮中央総合病院の開院50周年、誠におめでとうございます。

昭和48年4月の開院以来、八潮市の発展と共に成長を続けられ、市民の皆さんの健康のために医療を提供されてきたことに心から感謝申し上げます。

私は平成13年(2001年)に市長に就任させていただき、在任中はつくばエクスプレス八潮駅が開業するなど激動の12年間でしたが、その間八潮中央総合病院は、増え続ける医療需要に対応すべく増改築や病床数の増床、大規模修繕などで成長を続けてこられました。

そして今、八潮駅付近に新築移転され南部地区まちづくりの新たな核として、市民の皆さんの健康を支えており、貴院への期待は今後ますます増え続けることと思います。

八潮中央総合病院の限りないご発展と関係する皆さまのご健勝ご活躍をお祈り申し上げます。

八潮中央総合病院元院長
真田 毅

開院50周年、誠におめでとうございます。

八潮中央総合病院は上尾中央医科グループ2番目の病院として、当初80床のスタートでしたが、現在は250床の総合病院として成長してまいりました。

私は2001年7月に院長に就任させていただき、2021年3月に退任するまでの約20年間にわたり、地域の皆さまのご支援ご協力をいただきながら院長の職責をつとめさせていただくことができました。

特に、長年の懸案でありました新築移転につきましては、候補地の選定から移転開業に至るまで、多くの皆さまのご理解ご協力を賜りました。

ここに改めて、地域の皆さまや支えていただいた医療スタッフに心から感謝申し上げます。

八潮中央総合病院の今後ますますの発展をお祈りいたしております。

八潮中央総合病院は

記対

八潮中央総合病院
院長 本間 恵

院長 本日はお忙しい中お時間を割いていただきありがとうございます。いま市役所に入る際に新庁舎建築の槌音が響いて、新しい時代の幕開けを感じます。

市長 おいでいただきありがとうございました。新たな市庁舎は、来年（令和6年）1月に開庁予定で工事が進められており、現在基礎工事を終え3階部分まで鉄骨が組み上がってきています。（本年1月17日の対談日現在）
特徴としては、「環境にやさしい庁舎」「安全・安心な防災庁舎」「共生・協働の場となる庁舎」の3点で、建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）による5段階評価の最高ランクを獲得し、ZEB Ready認証を取得しました。ZEB Ready認証を取得した庁舎は、埼玉県内初となります。

院長 市民の皆さまが誇りに思える庁舎ですね。保健センターも一緒になると伺いました。

市長 そうなんです。現庁舎は3階建てですが、新庁舎

は4階建てになり、保健センターと休日診療所、教育委員会も庁舎の中に入ります。これにより健康、福祉、子育て等の手続きが一体的に行えることになります。また、2階から吹き抜けで市民活動スペースを設けており、市民の皆さんの利便性が高く、またデジタル改革を進めることと、太陽光、地熱といった自然エネルギーを活用するなど環境にも配慮しています。

院長 エネルギーがあればBCP（※）にもつながりますね。これからの時代にふさわしい庁舎になるものと思います。

※BCP（Business Continuity Plan）は、大規模災害など緊急事態の際に事業を途切れずに継続する計画。

八潮市の発展と共に

念談

八潮市長
大山 忍氏

新庁舎完成予想図【八潮市提供】

市民活動スペース【八潮市提供】

お互いに健康が一番

院長 ところで市長は八潮市のトップとして、心身ともにご苦労が多いことと思います。健康に関して心がけていることはおありですか？

市長 私の健康法は、「適度な食事」「しっかりとした睡眠」「適度な運動」で、毎日ラジオ体操を行っています。しっかりやると汗が出て血行も良くなるので、毎日欠かさずやっています。また、一日8,000歩くらい歩きたいと思っていますが、なかなかできません（笑）。それとストレスをためないよう、たまったら運動等で解消するよう心がけています。
院長はいかがでしょうか？やはりお忙しい毎日かと思いますが…。

院長 睡眠不足は万病の元ですので、私は睡眠をできるだけ確保するようにしています。そして患者さまには平素より「アルコールは1杯目から乳癌のリスクになります」とお話しているので、お酒はたまに1杯いただく程度に控えています。

院長 市長 お互いに健康には気をつけましょう。

対談 conversation

八潮市と共に歩んだ50年

院長 当院はおかげさまで50周年を迎えることができました。これも八潮市の皆さまのおかげと感謝いたしております。

市長 開院50周年、誠におめでとうございます。市内唯一の総合病院として本市の医療体制充実と市民の健康保持のため日ごろからお世話になっております。50年という歴史の重みは大きいですね。八潮市も昨年1月に市制施行50周年を迎えました。

院長 そうですね。当院の歴史は八潮市と共に歩んだ歴史だと思います。
当院は、50年前の1973年(昭和48年)に上尾中央医科グループ2番目の病院としてスタートしました。

市長 当時の八潮市は、市内に小学校が4校しかなかったのですが、その後5校、7校、10校と増やしています。そして、つくばエクスプレス八潮駅の開業に伴い児童生徒数が増加したことから、もう1校新設小学校を造る予定です。潮止中学校に隣接する場所に令和8年の開校を目指して準備を進めています。
改めて50年の歴史の重さを感じます。

院長 当院も八潮市の人口増に合わせるように、開院以来増え続ける医療需要に対応するため増改築を重ね、2016年(平成28年)5月、現在の場所に新築移転いたしました。

1973(昭和48)年、開院日にAMG中村会長と記念撮影

1989(平成元)年、増築竣工式

市長 市民の健康を守るためにいろいろと発展を遂げてこられたことが分かります。
ここ3年、コロナ禍においては医療関係者の皆さまにはさまざまなご対応にご尽力いただきました。市のほうにも当初、ワクチンが打てない方からのご不満が寄せられていましたが、それだけ市民の皆さんの不安が大きかったことと思われます。

院長 病院のほうでも、感染拡大によって通常の診療が大きな影響を受けており、現在でも発熱外来受診を希望する電話が朝から鳴りやまず、最後はお断りせざるを得ないような状況が続いています。(1月中旬時点)適正な医療の提供が限られている中で、重症化リスクのある方との選別をどうすべきか苦慮しています。

市長 保健センターにも発熱した方からの相談をいただきますが、発熱すると不安になって病院を頼る方が多いのだと思います。現在は、万が一に備えて、病院へ行かなくても自宅療養できるよう、解熱剤や検査キットを事前に準備していただくよう呼びかけているところです。

院長 ツイッター等を活用して呼びかけられるといいですね。

市長 若い世代はSNSを活用している方が多いので、それらを活用した情報発信を充実したいと思います。

「地域のかかりつけ病院」として患者さまに寄り添って

市長 八潮中央総合病院は中核病院であり、市民の安心につながるところです。地域の皆さんが安心して通院できる病院として、今後もぜひ発展していってほしいと思いますし、市としてもいろいろな形での連携をお願いしたいと思っています。

院長 ありがとうございます。時代に合った医療水準を満たしながら、ふらっと相談できるような、患者さまに寄り添った「地域のかかりつけ病院」として使っていただけるような病院になれればと思います。
今後も八潮市と力を合わせて、地域の医療機関と連携を図りながら、より良い病院運営を目指してまいります。
本日はありがとうございました。

「看護フェア」2022年5月14日（フレスポ八潮）

「手洗い教室」2022年11月9日
（八潮市立松之木小学校）

「出前講座」2023年1月13日
（老人福祉センター）

PROFILE

大山 忍（おおやま しのぶ）
八潮市長
出 身 地　埼玉県八潮市
学　　歴　成蹊大学工学部卒業
趣　　味　サッカー、ゴルフ、読書、映画・音楽鑑賞

本間 恵（ほんま めぐみ）
八潮中央総合病院 院長
出 身 地　山形県
学　　歴　秋田大学大学院医学研究科修了
趣　　味　音楽鑑賞、ドキュメンタリー映画鑑賞、Podcast聴取

50周年のあゆみ

1980

1990

当院の歩み

1997
- 9月「みどり診療所」オープン(床)

1996
- 1月管理棟完成、3月 麻酔科標榜、5月 増築工事完成 病床数306床(一般186床、老人120床)

1995
- 10月 増築工事着工(管理棟含む)

1994
- 4月 開院20周年記念式典開催、11月 小関和士院長就任、相澤理事長就任

1993

1992

1991

1990

江里口院長(当時)あいさつ

1989
- 1月 増築工事完成(病床数262床)、2月 脳神経外科標榜、人工透析科開設、3月増床(病床数275床)、6月 八潮中央総合病院に名称変更

1988
- 2月 増築工事着工

1987

1986

1985
- 7月 増床(病床数245床)

1984

1983
- 1月 江里口理事長就任、2月 増床(病床数241床)、5月 眼科開設、6月 新棟増築工事完了

1982
- 7月 新棟増築工事着工

1981
- 12月 医療法人社団協友会に組織変更

1980
- 7月 木造病棟改築により増床(病床数140床)

1980年(昭和55年)AMG学会

1979
- 3月 看護学生「あすなろ寮」完成

1978
- 7月 医療法人社団中央米寿会に組織変更、8月 救急告示病院

1977
- 1月 成人病棟開設に伴い増床(病床数134床)

1976
- 2月 産婦人科病棟改築完成、12月 第2期増築工事完成

1975

1974

1973
- 4月 八潮中央病院開設(病床数80床)、初代院長として江里口敏雄院長が就任

1973年(昭和48年)開院式行事

八潮市の動き

1997
- 「中川やしおフラワーパーク」開園
- 市制施行25周年記念事業「8の字サミット」開催
- 「やしお生涯楽習館」「リサイクルプラザ」オープン
- 「生涯学習まちづくり出前講座」スタート
- 市のシンボルマークを定める
- 市制施行20周年記念式典開催
- 「生涯学習都市宣言」、第1回市民まつり開催
- 「八潮メセナ」オープン

1991年(平成3年)生涯学習都市宣言

1990
- 藤波彰市長就任、「資料館」オープン
- 人口7万人突破

1983年(昭和58年)市制10周年記念パレード

1985
- 首都高速6号三郷線開通、老人福祉センター「すえひろ荘」オープン

1984
- 県立八潮南高校開校、「ゆまにて」オープン

1983
- 市制施行10周年記念式典開催、「八幡図書館・公民館」オープン

1982
- 福祉作業所「やまびこ」オープン

1981
- 「コミュニティセンター」オープン、中川に新共和橋開通

1980
- 「保健センター」オープン、第五(潮止)中学校開校

1979
- 第十(柳之宮)小学校開校

1978
- 第九(大原)小学校、第四(八幡)中学校開校、「文化スポーツセンター」オープン

1977
- 老人福祉センター寿楽荘オープン、第八(大瀬)小学校、第三(八條)中学校開校

1976
- 第七(八條北)小学校開校

1975

1974

1973
- 鈴木泰治市長就任

1972年(昭和47年)市制施行記念式典

その他の動き

1997
- 臓器移植法成立、山一証券破綻

1996
- O-157大流行、住専問題

1995
- 阪神淡路大震災発生、地下鉄サリン事件

1994
- 関西国際空港開港、松本サリン事件

1993
- 皇太子殿下雅子妃ご成婚

1992
- 東京佐川急便事件

1991
- バブル崩壊、雲仙普賢岳火砕流発生

1990
- 昭和天皇崩御、天安門事件、ベルリンの壁崩壊
- 青函トンネル開通、リクルート事件
- 国鉄民営化
- ダイアナフィーバー
- 日航ジャンボ機墜落、筑波科学万博開催
- グリコ森永事件
- 三宅島大噴火、ドラマ「おしん」ブーム
- 日航機羽田沖墜落事故
- 死因のトップ脳卒中からガンへ
- 1億円拾得事件

1985
- 日本坂トンネル事故
- 日中平和友好条約調印、成田空港開港
- 王貞治756号本塁打達成
- 日本初の五つ子誕生
- ベトナム戦争終結
- 巨人軍V9達成、石油危機

1984

1983

1982

1981

1980

1979

1978

1977

1976

1975

1974

1973

2000

2010

2020

2023
- 開院50周年を迎える

2022
- 4月後藤伸之院長就任、5月Aquilion ONEマルチスライスCT320列稼働開始、10月本間恵院長就任

2021
- 3月SSI電子カルテ導入

2020
- 1月一般病棟150床→200床(障害者病棟50床廃止)、10月一般病棟200床→186床、緩和ケア病棟14床

2019
- 1月透析室の拡張38床→40床
- 5月新築移転 許可病床数250床(一般病棟150床、障害者病棟50床、回復期リハビリテーション病棟50床)
- 2月理事長 中村康彦から平岡邦彦へ変更(協友会)

2018
- 3月新築移転新棟着工
- 4月開院40周年

2017
- 4月臨床研修指定病院 基幹型から協力型へ変更、7月マルチスライスCT64列稼働開始、9月PACS稼働開始
- 7月病院機能評価(Ver6)更新受審、9月病院機能評価認定

2016
- 1月理事長 中村秀夫から中村康彦へ変更(協友会)、4月DPCの導入

2015
- 12月訪問看護ステーション 八潮市緑町1-24-7へ移転
- 2月MRI導入・稼働開始、診療科目変更 産婦人科→婦人科(産科の廃止)、3月保育所完成・引越、7月病床数の変更302床(一般184床、障害118床)→透析室の拡張20床→24床、病院大規模修繕工事(外壁全塗装・屋上防水工事等)開始 10月終了

2014
- 11月病床数変更304床(一般186床、障害118床)

2013
- 6月病院機能評価受審、9月病院機能評価認定

2012
- 5月病床数変更327床(一般192床、療養135床)、8月放射線科標榜

2011
- 4月呼吸器外科・心臓血管外科標榜、8月増改築工事完成 病床数339床(一般204床、療養135床)

2010
- 6月院外処方箋開始、7月真田毅院長就任、8月増改築工事着工

2009
- 9月山内篤院長就任、10月八潮中央訪問看護ステーション指定【開設】、11月 指定居宅介護支援事業所指定【許可】

2008
- 11月区画整理に伴う町名地番変更(八潮市緑町1-41-3)

2007
- 健康・スポーツ都市宣言、新消防庁舎落成、八潮駅南口オープン

2006
- 人口8万人突破

2005
- 八潮駅前に市役所駅前出張所等がオープン、市民大学大学院開校、「健康づくり行動計画」策定

2004
- 八潮市小中一貫教育特区が内閣府から認定

2003
- つくばエクスプレス八潮駅開業、和井田家住宅、国の重要指定文化財に指定

2002
- 浮花橋開通、埼玉国体開催

2001
- やしお市民大学開校、だいばら児童館「わんぱる」オープン

2000
- 市制施行30周年記念式典開催

1999
- 多田重美市長就任、「エイトアリーナ」オープン

1998
- 「八條公民館・八條図書館」オープン

2009
- 市制施行50周年を迎える
- 東京2020オリンピック聖火リレーの実施、新庁舎の建設工事始まる
- 新庁舎の基本設計決まる

2010
- 八潮市シティセールスPR動画配信スタート

2011
- 市の人口が9万人を突破

2012
- 住民票などのコンビニ交付サービス開始
- ふるさと納税に対する返礼品の贈呈開始

2013
- やしお毎日一万歩運動開講式

2014
- 八潮こども夢大学開校式

2015
- 大山忍市長就任

2016
- 市制施行40周年記念式典開催

2017
- 障害者福祉施設「やまびこ」オープン

2018
- 新中川橋開通

2019
- 東京2020オリンピック・パラリンピック大会開催

2020
- 新型コロナウイルス国内発生

2021
- 大谷翔平、メジャー新人王に
- トランプ米政権発足

2022
- 安全保障関連法が成立

2023
- アベノミクス始動

2024
- 東京スカイツリー竣工

2025
- 東日本大震災発生

2026
- 奈良平城遷都1300年、上海で万国博

2027
- 新型インフルエンザ国内発生

2028
- 岩手・宮城内陸地震発生、米大統領にオバマ氏

2029
- 10代患者でタミフル異常行動問題

2030
- がん対策基本法成立

2031
- 愛知万博開催、JR福知山線脱線事故、耐震偽装問題発覚

2032
- 鳥インフルエンザ流行、新潟中越地震発生

2033
- 新型肺炎(SARS)流行

2034
- ユーロ流通開始、日韓サッカーW杯開催

2035
- 家電リサイクル法施行、米同時多発テロ勃発

2036
- 介護保険制度スタート

2037
- ユーロ導入、マカオが中国に返還

2038
- 長野冬季五輪開催

2005年(平成17年)病院機能評価認定

2016年(平成28年)新築移転工事 竣工式

2020年(令和2年)電子カルテ導入

2002年(平成14年)
市制施行30周年記念式典

2005年(平成17年)TX八潮駅開業

2021年(令和3年)新庁舎工事起工式

※八潮市関係の写真は、八潮市からご提供いただきました。

診療科の紹介 Department Information 各診療科の紹介をさせていただきます。詳細はQRコード

内科

部長 **渡辺 淳**医師／部長 **山本 健一郎**医師

当科では、消化器疾患、呼吸器疾患、高血圧・糖尿病・高脂血症などのいわゆる生活習慣病とよばれる慢性疾患の診断・治療を行っています。消化器は上下部の内視鏡検査、治療（上部消化管EMR、下部消化管ポリペクトミー、EMR）を行っております。糖尿病は専門医による診療を行っており、糖尿病診療チームによる糖尿病教室を開催しております。糖尿病教室は当院の患者さまではなくても参加ができますので、お気軽にお越しください。

小児科

日比野 聡医師

当科では、0歳児から中学3年生までの内科的な病気を診療させていただいております。各種予防接種や乳児健診、保育園入園前健診も行っております。予防接種と乳児健診は完全予約制ですので小児科へお電話ください。ワクチンのご用意がありますので、2週間前までにご連絡いただきますようお願いします。
また感染症と非感染症を分けるため、来院の際はお電話いただくと安心です。

脳神経外科

長野 由布医師

脳血管障害（脳卒中）や頭部外傷などの入院治療や外来診療、後遺症（運動障害や高次機能障害等）に対するリハビリテーションを中心に行っています。急性期治療からリハビリへの移行、在宅復帰後の通院まで一貫して行うことで、地域密着型の医療を心がけております。小児の頭部打撲や頭痛は小児科と、認知症やてんかんは脳神経内科と、連携を取りながら対応いたします。脳腫瘍など当院での治療が困難な疾患も、適切な医療機関へ速やかにご紹介いたしますのでご相談ください。

整形外科

部長 **山田 光高**医師／部長 **岩永 真人**医師

当科では、学会専門医の常勤5名を中心に整形外科で扱う全ての疾患について幅広く診断・治療を行っています。骨・関節・筋肉・腱・脊椎脊髄・神経など運動器の機能改善を重視し、外傷や疾患を保存的治療と外科的治療を個々のニーズに合った最適な治療の選択に努めています。早期からリハビリを開始し、機能回復・社会復帰を目指しています。各専門医の外来日を設けているため、来院の際はお電話いただくと安心です。お気軽にご相談ください。

外科

部長 **堀川 直樹**医師

一般外科・消化器外科の他、循環器外科、乳腺外科などの領域を扱っております。循環器外科では、末梢動脈疾患（動脈バイパス術や血管形成術）、静脈疾患（静脈瘤、静脈血栓症など）、不整脈・心不全治療（ペースメーカー植え込み、及びその管理など）を行っています。透析用内シャント造設とその管理も行っています。消化器外科・一般外科では、良性疾患（皮下腫瘤・膿瘍・ヘルニア・痔核など）・悪性疾患（胃癌・大腸癌など）・緊急疾患（急性虫垂炎・急性胆嚢炎・腸閉塞・消化管穿孔など）いずれにも対応しています。

形成外科

渡邉 紅実医師

形成外科では皮膚や軟部組織の外科的手術を行なっており、主に以下の疾患を取り扱っております。記載のない疾患でもご相談ください。日帰り、入院、麻酔方法などはご本人と相談して決めさせて頂きますので、受診時にご希望をお伝え頂けますと幸いです。

① **皮膚、軟部良性腫瘍**
② **皮膚悪性腫瘍**
③ **先天奇形**
④ **眼瞼下垂**
⑤ **外傷治療**
⑥ **熱傷治療**
⑦ **腋臭症**
⑧ **肥厚性瘢痕、ケロイド、ニキビケロイド**

からご確認ください。

眼科

海老原 悟志医師

地域の目のかかりつけ医として安心していただける医療を提供できるように、丁寧な診療と説明を心がけております。白内障手術を中心に、硝子体手術・硝子体内注射等を行っております。主要機器も揃い、近年当院で行われていなかった難症例もできるようになりました。目に不安をお持ちの方は、お気兼ねなくお越しください。
【診療内容】白内障、網膜硝子体・黄斑疾患、緑内障を中心に、あらゆる眼症状（視力低下、かすみ、疲れ目、充血、めやに、涙目、ドライアイ、飛蚊症、アレルギー症状）について、丁寧に診察いたします。

婦人科

部長 **加藤 真也**医師

【診療内容】
月経不順・月経痛／不正出血・帯下の異常／性感染症（クラジミア・淋菌・トリコモナスなど）／陰部の痒み、腫れ、痛み／子宮頸がん・体がん・卵巣腫瘍・検査及びフォローアップ・HPV（ヒトパピローマウイルス）検査／子宮筋腫・子宮内膜症・子宮腺筋症（保存的治療のみ）／更年期症状／避妊の相談（緊急避妊用ピル含む）／子宮頸がんワクチン（ガーダシル・サーバリックス）

緩和ケア

院長代理 **藤城 儀幸**医師

緩和ケアとは、がんによる辛い症状を和らげて、自分らしい生活を送るための医療・ケアです。また、患者様だけではなく、ご家族様の不安や悩みにも対応させていただき、少しでも患者様やご家族様のご希望に沿った対応に努めています。緩和ケア専門医師、緩和ケア病棟看護師、退院支援看護師、薬剤師、医療相談員、理学療法士、管理栄養士、などの多職種によるスタッフがチームで患者様、ご家族のご希望を確認しながら大切な時間を心穏やかにお過ごしいただけるよう支援させていただいています。

脳神経内科

非常勤医師

頭痛、もの忘れ、手足のしびれ、うまく力が入らない（脱力）、しゃべりにくい・呂律が回らない、物が二重に見える（複視）、めまい・ふらつき、けいれん・気を失う、勝手に手足や体が動いてしまう・ふるえ（不随意運動）などの症状に対してご相談ください。

耳鼻咽喉科

部長 **加藤 高行**医師

当科では、耳鼻咽喉科全般の疾患について診断・治療をおこなっております。常勤２名体制で、外来診療だけでなく、入院・手術にも積極的に取り組んでおります。
【診療内容】　鼻・咽鼻腔や咽喉頭領域の手術に加えて、耳下腺や顎下腺の腫瘍、頸部良性腫瘍などの手術を中心に行っております。また、急性炎症性疾患やめまいなどの救急疾患も積極的に受け入れています。

泌尿器科

部長 **徳永まゆ子**医師

当科では、泌尿器科全般の疾患について血液検査、超音波検査、膀胱内視鏡検査、X線検査、排尿機能検査、CTやMRIなどの画像検査を施行し、泌尿器科疾患の診断・治療を行います。常勤２名体制で外来診療だけではなく、入院・手術にも積極的に取り組んでおります。火曜日と金曜日午後は手術日ですので緊急性のある症状で受診が必要な方がおりましたらお電話でお問い合わせ下さい。
当院、泌尿器科は東京大学医学部附属病院泌尿器科・男性科と連携しております。症状に合わせて東京大学医学部附属泌尿器科・男性科へご紹介させていただきます。

皮膚科

重野 和彦医師

当科は、患者様の体表（皮膚）に起こった変化を診断し、治療をおこなう科です。
【診療内容】湿疹・皮膚炎群・じんま疹・ざ瘡（にきび）・白癬（水虫）・帯状疱疹などの一般的な皮膚疾患のほか、アトピー性皮膚炎・尋常性乾癬など慢性皮膚疾患の治療を行っております。

歴代三役

successive generations

院 長	看護部長	事務長
江里口 敏雄 1973/3/24～1993/11/21	平石 清子 1973/3/24～1992/5/31	山口 行雄 1973/3/24～1979/4/20
小関 和士 1993/12/1～1999/9/16	大山 千香子 1992/6/1～1997/12/20	河野 通 1979/4/21～1985/4/21
山内 篤 1999/10/1～2001/6/30	川上 千英子 1997/12/18～1999/12/30	宮坂 俊弘 1973/3/24～1993/11/21
真田 毅 2001/7/1～2021/3/31	下脇 ひとみ 2000/2/21～2004/11/30	山口 行雄 1985/4/22～1988/10/31
後藤 伸之 2021/4/1～4/5	中澤 文子 2004/12/1～2008/3/20	中山 憲一 1996/4/1～1997/3/31
本間 恵 2021/10/1～現在	種村 和行 2008/3/21～2011/3/20	福田 精一 1997/4/1～1999/10/31
	島尻 美恵 2011/3/21～2016/3/20	小杉 喜代志 1999/11/1～2001/9/20
	工藤 美奈子 2016/3/21～2018/3/20	真々田 俊夫 2001/9/21～2003/9/30
	工藤 潤 2018/3/21～2020/3/20	小林 洋一 2003/10/1～2007/3/31
	大山 美和子 2020/3/21～現在	高橋 敏郎 2007/4/1～2008/3/20
		戸張 喜由 2008/3/21～2012/3/31
		河原 卓二 2012/4/1～2014/3/20
		池田 睦 2014/3/21～2016/9/30
		大山 輝夫 2016/10/1～現在

資料編

2022年12月31日現在

hospital resource

病院概要

病床数

250床(一般186床、緩和ケア14床、回復期50床)

診療科目

内科、消化器内科、内視鏡内科、外科、消化器外科、脳神経外科、皮膚科、眼科、放射線科、呼吸器内科、糖尿病内科、人工透析内科、呼吸器外科、乳腺外科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、麻酔科、循環器内科、神経内科、緩和ケア内科、心臓血管外科、整形外科、小児科、婦人科、リハビリテーション科、リウマチ科

面 積

【床】13329.72㎡、【敷地】面積7687.00㎡

認定施設

厚生労働省臨床研修指定病院
国民健康保険取扱機関
健康保険取扱指定医療機関
労災保険指定医療機関
生活保護法指定医療機関
救急告示病院
結核予防法指定医療機関
日本医療機能評価機構認定病院
身体障害者福祉法指定更正医療機関
母子保健法指定養育医療機関
日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本外科学会認定医修練施設
労災保険二次検診検診給付医療機関
日本整形外科学会専門医研修施設
日本乳癌学会関連施設

職員数(2022年12月31日現在)

合計 634名(常勤551名、非常勤83名)

医師37名(常勤37名、非常勤0名)
薬剤師17名(常勤17名、非常勤0名)
看護師242名(常勤201名、非常勤41名)
准看護士15名(常勤8名、非常勤7名)
看護補助者24名(常勤16名、非常勤8名)
介護福祉士16名(常勤12名、非常勤4名)
介護支援専門員4名(常勤4名、非常勤0名)
診療放射線技師16名(常勤16名、非常勤0名)
臨床検査技師21名(常勤21名、非常勤0名)
臨床工学技士16名(常勤16名、非常勤0名)
理学療法士63名(常勤62名、非常勤1名)
作業療法士30名(常勤30名、非常勤0名)
言語聴覚士6名(常勤6名、非常勤0名)
視能訓練士3名(常勤3名、非常勤0名)
管理栄養士6名(常勤6名、非常勤0名)
医師事務補助27名(常勤24名、非常勤3名)
事務91名(常勤72名、非常勤19名)

診療統計　2021年度実績

外来患者数	151,907名
入院患者数	3,184名
退院患者数	3,188名
1日平均外来患者数	514.9名
救急搬入数	2,079件
紹介患者数	2,461名
手術件数(全身麻酔)	889件

▲【北】首都高速道路

▼【西】富士山

▼【北東】筑波山

▼【南西】八潮駅方面

▼【北東】潮止小学校

屋上から見た周辺の景色

当院屋上から周辺を見ると、八潮駅を発着するつくばエクスプレスの電車が間近に走り、北に首都高速道路、西に富士山、北東に筑波山、南西に東京スカイツリーを望むことができます。

【南西】東京スカイツリー

▲【南】つくばエクスプレス

▲【南東】千葉県方面

▼【南東】東京外かく環状道路

上尾中央医科グループ　医療法人 社団協友会

八潮中央総合病院

〒340-0814 埼玉県八潮市南川崎845番地

TEL 048-996-1131 FAX 048-997-2135

https://yashio-cgh.jp

病院ホームページ▶

日本医療機能評価機構認定